【活動状況　令和８年第 16 号】

ホテル従業員向けサイバーセキュリティ対策セミナーの実施について

令和８年６月２日と 16 日に、京都市内に所在するホテルオークラ京都とからすま京都ホテルで、従業員を対象にサイバーセキュリティ対策セミナーを実施しました。

① 演題：サイバー犯罪の現状と対策
講師：京都府警察サイバー対策本部サイバー企画課　官民連携推進係
内容：①サイバー空間をめぐる情勢
②今知っておくべきサイバー犯罪の手口（サプライチェーン攻撃、サポート詐欺、フィッシング、ClickFix、ビジネスメール詐欺、ランサムウェア等）
③情報セキュリティ対策の基本
④警察への通報、京都府警察の取組

② 演題：標的型メール・インシデント発生時の対応要領
講師：京都府警察サイバー対策本部サイバー攻撃対策課
内容：①なぜホテル業界が狙われるのか
②主要なインシデント事例
③標的型メール攻撃とは
④インシデント対応と警察対応Ｑ＆Ａ

について説明しました。

京都府警察の講演

受講後アンケートでは、

①日頃の業務におけるセキュリティ意識に変化はありましたか。

・非常に意識が高まった　41 名
・少し意識が高まった　　52 名
・あまり変わらない　　３名
・わからない　　１名

②今後の業務において「特に注意が必要だ」と感じた脅威・リスクは何ですか。（複数回答可）

・不審なメール（フィッシング、標的型メール）の対応　86 名
・ランサムウェアの被害、対応について　55 名
・パスワードの脆弱な設定について　41 名
・SNS の適切な利用について　30 名
・その他　１名

③これからの業務で、すぐに実践しようと思う対策は何ですか。（複数回答可）

・怪しいメールの URL や添付ファイルは開かない　93 名
・万が一インシデント（紛失やウイルス感染疑い）が起きたらすぐに上司に報告する　64 名
・パスワードのセキュリティ強化　31 名
・自身の情報リテラシーの向上　36 名
・その他　１名

④不審メールの誤開封やインシデントが発生した場合の初動対応を理解できたか。

・完全に理解できた　31 名
・理解はしたが、手順に少し不安がある　65 名
・よくわからない　１名

との回答でした。

その他に、

・安易に添付ファイルを開かないことはもちろん、より一層課内で防犯意識を高めていきたい。
・AI の進化により攻撃側の手口が巧妙化しているので、今後 AI を悪用されれば脅威になると思う。
・理解できても、いざというときに行動できるか不安であるため、継続して啓蒙活動を実施していただきたい。

等の反響をいただきました。

【セミナー講師派遣ページについて】

当ホームページでは、セミナーなどへの講師派遣依頼も受け付けております。

サイバーセキュリティに関するセミナー開催等をご検討中の方は、ぜひご活用ください。

▽講師派遣に関する詳細▽

https://www.ksisnet.kyoto/executive/dispatch/